

教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 平成 29 年 8 月 25 日(金) 開会 13 時 00 分
閉会 13 時 17 分
2. 場 所 第 1 委員会室
3. 付議事件 ①事業効果の検討について
②地域と学校のあり方について
社会福祉関係事業、学童保育所維持管理経費、健康づくり・未病改善事業
4. 出席者 前田委員長 一石副委員長 小笠原委員 露木委員 渡辺委員 根岸委員
添田委員 二見議長
傍聴議員 2 名
一般傍聴者 0 名
議会事務局 3 名
5. 経 過

議長あいさつ

①事業効果の検討について

- 委員長 議題は地域と学校のあり方についてである。二宮町の小中学校の現状は、資料の小中学校人数表と年齢別人口調べ記載のとおりである。学校あつての地域、地域あつての学校の考えをもとに地域と学校のあり方について調査を継続していきたいがよろしいか。なお、来年度より一色小学校がコミュニティスクール化される予定である。31 年度に二宮小学校、山西小学校もコミュニティスクール化される予定である。コミュニティスクールとの関連も合わせ、調査を進めていきたいがいかがか。
- 小笠原 このようなテーマを掲げて、調査研究していこうと言いながらも、具体的な動きや、今後どうしていくのかを確認したらどうか。そうでないと町民の方も分かりにくい。
- 委員長 教育委員会との意見交換会としてコミュニティスクール化についての勉強会を開催した。地域とのあり方になるとコミュニティスクールが大きな一つの問題となる。杉並区三鷹市に視察をしているので、三鷹市の状況を踏まえた上での勉強を進めていくのはないかと思うがいかがか。
- 添田 この課題は以前から決められた課題であるが、目先のことではなく、今後、二宮町の学校のあり方として大きな課題として始めている。小中一貫校や、コミュニティスクールや、認定こども園が併設されている小学校を視察に行ったりしたが、その結果をふまえて、コミュニティスクールのみならず、学校の統合や小中一貫教育等、学校における全てを大きくとらえた教育関係を検討すべきで、直近の答えを出す調査課題ではないと考える。

一石 コミュニティスクールについては、教育総務課との話し合いの中で、国がやれと言われたからやるという方向で緩やかにシフトしていくという印象だった。

しかし、学識経験者や専門家の間では、コミュニティスクールは重要であるとのことで私もそう考える。先日、教育福祉常任委員会で企画した議会意見交換会で、多くの方が学校というテーマに関して活発な意見があり、印象に残っている。コミュニティスクールについては、これから町が考えた学習会等を作っていくことと思うが、我々は我々で、さまざまな学校を見たりして、知識も持ってきており、若い保護者の方も学校のあり方について理想を持っているため、その方たちの話し合いの動きを作るのが重要ではないかと考える。

渡辺 添田議員からも意見があったが、学校を町としてどう作っていくかは先の長い論議であると考えている。しかし、この委員会も実質1年程の限られた期間の中で、どういう形で提言するのか、どこまでいくのか決める必要がある。今日この場ではまとめられないが、9月議会後の再開した時点でここまではやろうということを決めないといけないのではないかと感じている。

委員長 議会閉会中の調査事項として地域と学校のあり方について継続調査でよいか。

(「異議なし」との声あり)

委員長 9月議会後も各委員からの意見を踏まえて調査を進める。

②地域と学校のあり方について

社会福祉関係事業、学童保育所維持管理経費、健康づくり・未病改善事業

委員長 次の議題、事業効果の検討についてである。社会福祉関係事業、学童保育所維持管理経費、健康づくり・未病改善事業を各委員会から報告する。

一石 学童について、根岸委員と供に聴き取りを行った。一色小学校からは都合で来られなかったが、山西学童保護者会の会長、副会長、前会長、二宮小学校保護者会の相談役である前会長、から聴き取りした。喫緊の課題は、夏休みのお弁当についてである。二宮小学校は取り組まれなかったが、山西小学校は保護者会でマネジメントして、お弁当は大事であるということに決めた。二宮小学校の夏休みだけ来られる方も取られなかったが、たいへん問題であると認識されており、町に要望を出したとのことであった。保護者会と、委託先である寿考会と意見交換をしたことが無いとのことだったので、話し合いの場を設けるのはどうかと提言した。現在、話し合いの場が持たれる日を待っているといるところである。

根岸 話し合いの場が持たれていないわけではなく、意思疎通がうまくいっていないようだ。保護者側からすればせつかく委託をしたのに、今まで変わらないのではないかとのことだった。3 学童共通の認識を持って、運営できるようにコミ

ユニケーションを取る機会を設けたいとのことであった。

委員長 学童について他に何かあるか。

(意見なし)

委員長 続いて、社会福祉関係事業について報告願う。

添田 地域包括ケアシステムという新しい概念が生まれ、それをどう構築していくかということだが、そのキーとなるのが社会福祉協議会であり、このテーマを選んだ理由である。その活動内容、町・地域との調整内容等を話し合ったが、その中でいくつかの課題があり、やらなければならないことも見えてきている。町との関係の中で両者の役割を整理する必要がある。行政側と話し合い、最終的には12月の議会で意見書として提出できるようにしたい。

委員長 その他何かあるか。

(意見なし)

委員長 健康づくり・未病改善事業について報告願う。

渡辺 7月6日に健康づくりステーションがオープンした。8月1日に健康づくり課にて状況を聞いたが、利用者は70名ほどで、利用者の意見については、まだ把握できておらず、それに対して議会としてアンケートを取ることにについては協力可能とのことだった。今後、利用者の受け止めも含めて、本来の事業目的とそれを計る指標についてどのようにするのか、また利用者にとってどうだったかを調べていきたい。これに基づき、この事業効果と評価としていく予定である。

委員長 事業効果の検討について各グループより話していただいた内容で進め、議会閉会中の継続調査は健康づくり条例、地域と学校のあり方について、事業効果の検討についての3件とするがよろしいか。健康づくり条例については、前回の委員会で継続調査をするという結論が出ていたので議題に入れず、他2件を今回議題とした。

(「異議なし」との声あり)

閉会時間 13時17分